

# 1. 環境の状況についての実感（問1）

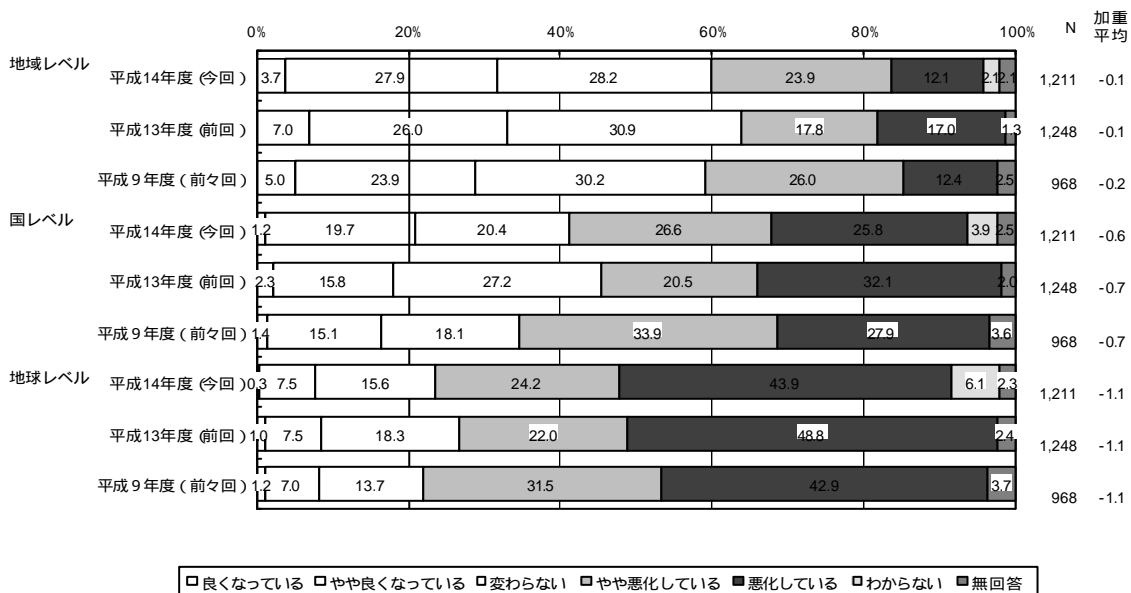
## 1-1 地域レベル、国レベル、地球レベルでの環境の実感（比較）

環境悪化を実感する比率は、全体として大きく変わっていないが、地球レベルでの環境が「悪化している」「やや悪化している」とみる人の比率は68%であり、依然として高い。

近年の環境の状況についての実感を地域、国、地球の3レベルに分けて尋ねたところ、良くなっている（「良くなっている」「やや良くなっている」の合計）と実感する人の比率は、地域レベルで32%、国レベルで21%、地球レベルで8%となっている。前回（平成13年度）の調査と比較して、国レベルで良くなっていると実感する比率がやや増加している。

一方、悪化している（「悪化している」「やや悪化している」の合計）と実感する人の比率は、地域レベルで36%にとどまっているが、国レベルで52%、地球レベルで68%と過半数を超え、国や地球レベルの環境悪化を実感する比率が高い。前回の調査と比較すると、地球レベルの環境悪化を実感する比率は若干低下しているが、地域レベルの環境悪化を実感する比率は若干上昇している。

【図表 1-1-1】地域レベル、国レベル、地球レベルでの環境の実感（全体、時系列）



注) この項の加重平均は、「良くなっている」に2点、「やや良くなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。

## 1 - 2 地域レベルでの環境の実感

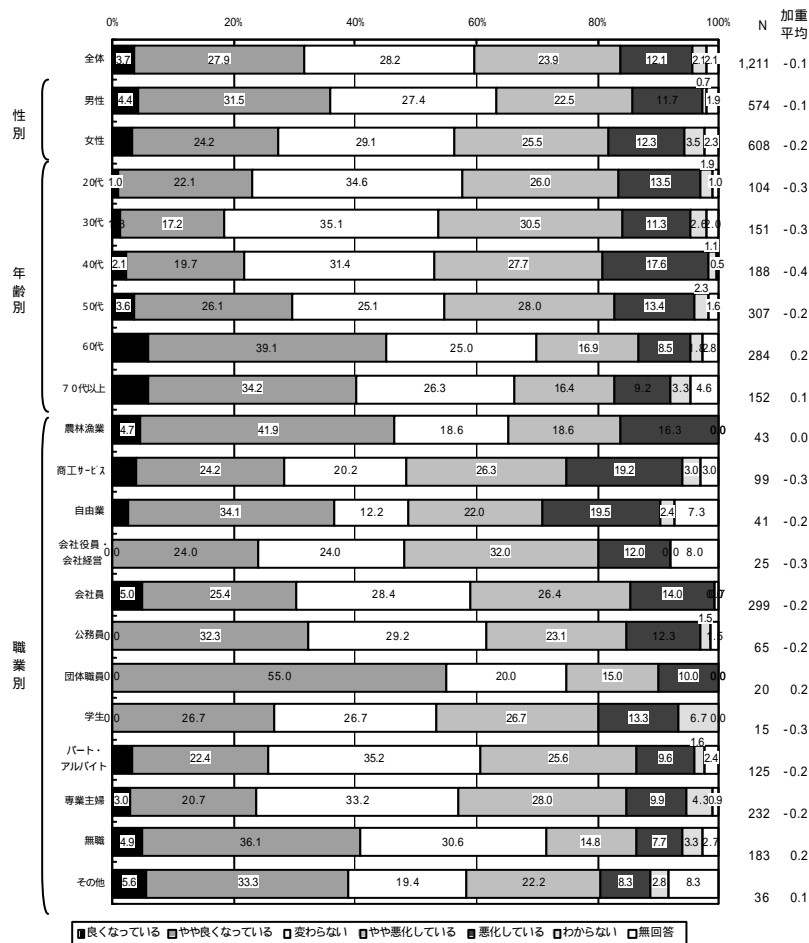
地域レベルでの環境悪化を実感する比率は、男性よりも女性の方がやや高い。年齢別には高年層よりも若年層、職業別には商工サービス、自由業、会社役員・会社経営、会社員、学生で環境悪化を実感する比率が高い。

地域レベルでの環境の実感について、良くなっていると実感する人の比率は、女性よりも男性の方が高い。

年齢別では、良くなっていると実感する人の比率は、概して年齢の上がるほど増加する傾向にある。特に60代以上では、良くなっていると実感する人の比率が悪化していると実感する人の比率を上回る。

職業別では、悪化していると実感する人の比率が良くなっていると実感する人の比率を上回るものは、商工サービス、自由業、会社役員・会社経営、会社員、公務員、学生、パート・アルバイト、専業主婦である。中でも、商工サービス、自由業は「悪化している」とする比率が19%、20%であり、他の層よりも高い。

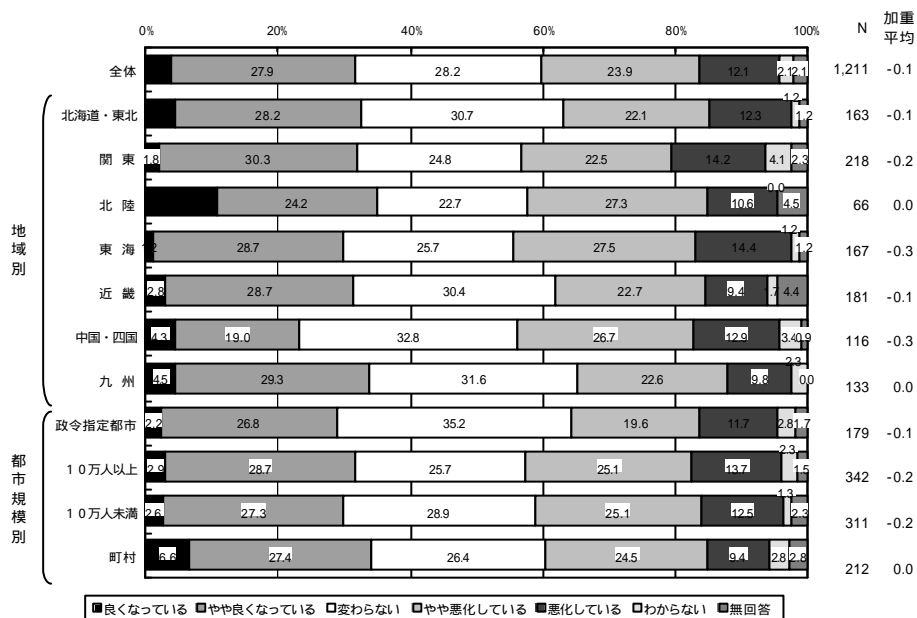
【図表 1-2-1】地域レベルでの環境の実感（性別、年齢別、職業別）



注) この項の加重平均は、「良くなっている」に2点、「やや良くなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。

地域別にみると、良くなっていると実感する人の比率は、四国・中国で低く、北陸や九州でやや高い。

【図表 1-2-2】地域レベルでの環境の実感（地域別、都市規模別）



注) この項の加重平均は、「良くなっている」に2点、「やや良くなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に - 1点、「悪化している」に - 2点を与えて算出した。

### 1 - 3 国レベルでの環境の実感

国レベルでの環境悪化を実感する比率は、性別では男性よりも女性、年齢別には高年層よりも若年層、職業別には商工サービス、会社員、公務員、パート・アルバイト、専業主婦で高い。

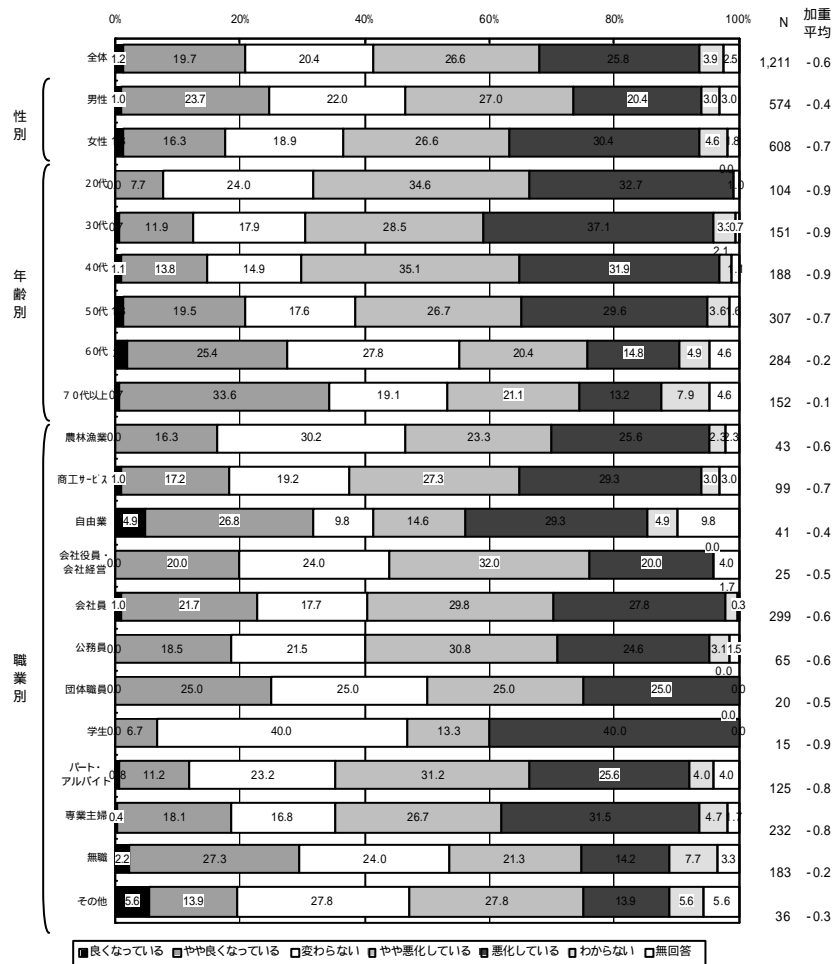
国レベルでの環境の実感については、70代以上を除き性別・年齢別・職業別のいずれの内訳についても、良くなっていると実感する人の比率よりも悪化していると実感する人の比率が顕著に高い。

性別では、良くなっていると実感する人の比率は、女性の方が男性よりも低い。

年齢別では、良くなっていると実感する人の比率は、概して年齢の上がるほど増加する傾向にある。

職業別では、悪化していると実感する人の比率は、商工サービス、会社員、公務員、パート・アルバイト、専業主婦で55～58%と高い。

【図表 1-3-1】国レベルでの環境の実感（性別、年齢別、職業別）

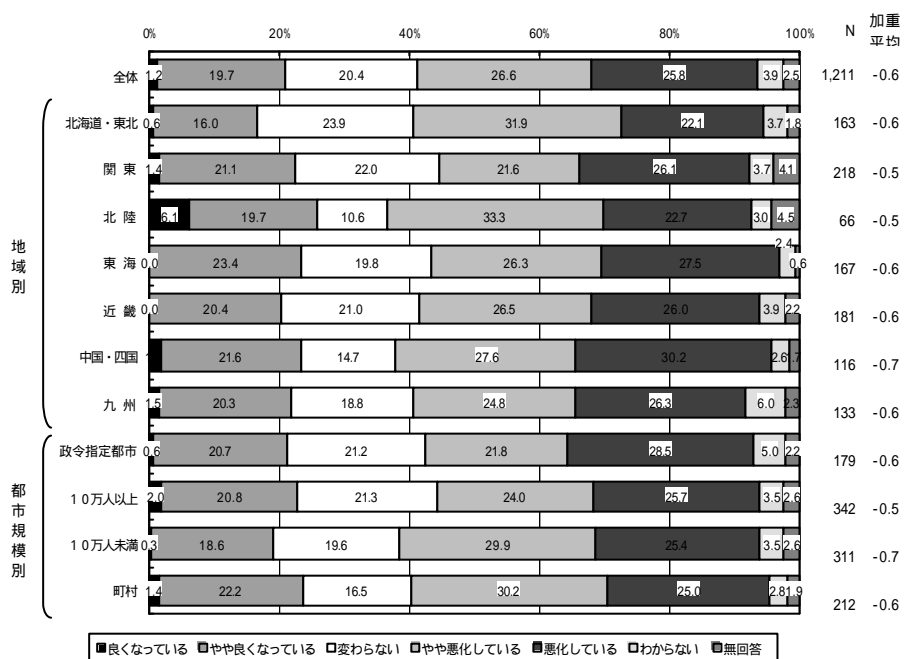


注) この項の加重平均は、「良くなっている」に2点、「やや良くなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。

地域別にみると、北陸、中国・四国で「悪化している」と実感している人の比率がやや高い。

都市規模別には、顕著な差はない。

【図表 1-3-2】国レベルでの環境の実感（地域別、都市規模別）



注) この項の加重平均は、「良くなっている」に2点、「やや良くなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。

## 1 - 4 地球レベルでの環境の実感

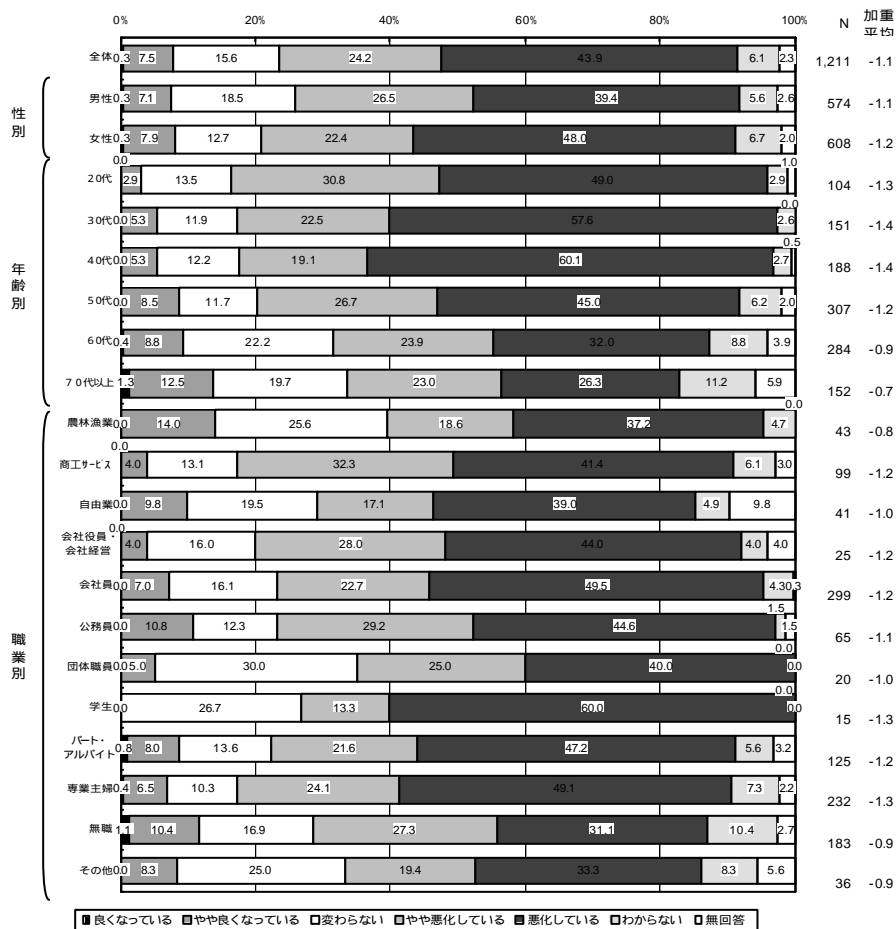
地域レベルでの環境悪化を実感する比率は、男性よりも女性の方がやや高い。年齢別には高年層よりも若年層、職業別には商工サービス、会社役員・会社経営、会社員、公務員、学生、専業主婦で高い。

地球レベルでの環境の実感については、性別・年齢別・職業別のいずれの内訳についても、良くなっていると実感する人の比率よりも悪化していると実感する人の比率が顕著に高い。

性別による差はないが、年齢別での環境悪化を実感する人の比率は、概して年齢の上がるほど減少する傾向にある。

職業別では、悪化していると実感する人の比率が、商工サービス、会社役員・会社経営、会社員、公務員、学生、専業主婦で72~74%と高い。

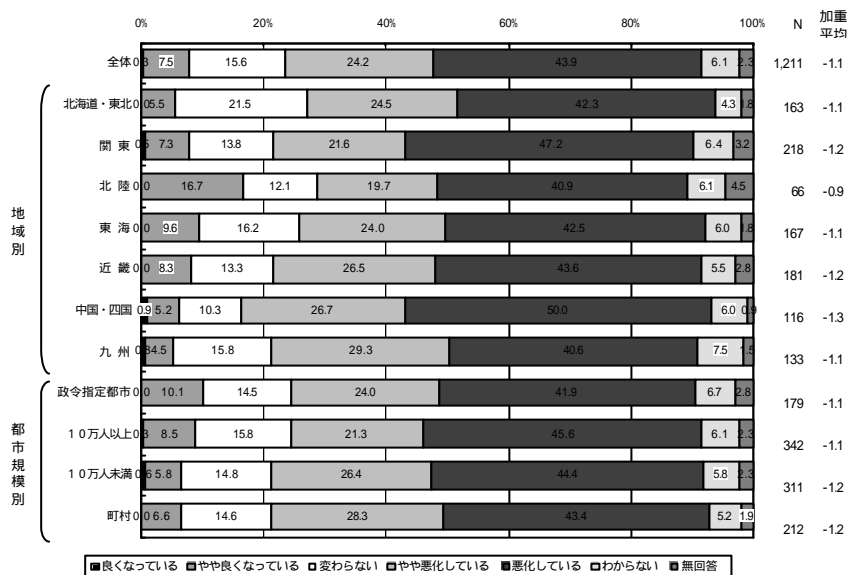
【図表 1-4-1】地球レベルでの環境の実感（性別、年齢別、職業別）



注) この項の加重平均は、「良くなっている」に2点、「やや良くなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。

地域別にみると、良くなっていると実感する人の比率が北陸でやや高い。  
都市規模別には、顕著な差はない。

【図表 1-4-2】地球レベルでの環境の実感（地域別、都市規模別）



注) この項の加重平均は、「良くなっている」に2点、「やや良くなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。